

計画の構成

今後のみどりのまちづくりを
考える上での重要な視点

【共通の観点】 SDGsの達成への貢献・グリーンインフラの概念

- 大震災や都市型洪水など都市防災への対応
- 都市における自然環境・生物多様性の保全
- 気候変動への対応や都市環境の改善
- 都市の個性や魅力・風格の向上
- 多様な主体によるまちづくりと連携したまちの価値向上
- みどりの創出・保全と情報の発信・共有
- 一人ひとりのいきいきとした都市生活の実現

各要素に反映

基本理念

みどりの魅力あふれる大都市・大阪
誰もが住みたい・働きたい・訪れたいと
思う「みどりの都市」へ

この基本理念を実現するためには：

基本方針

【方針①】 **都市**を支える健全で快適な
「みどり」を“育む”

都市の中で求められる多様なみどりを確保しながら、公園や道路をはじめとした都市内の樹木を丁寧に育成するなど、都市を支える健全で快適なみどりを育む

【方針②】 **まち**の多様な「みどり」を
“活かす”

まちの価値向上が図られるよう、産・官・学・民がそれぞれの目的やニーズに応じて、まちの多様なみどりを自由な発想で柔軟に活用する

【方針③】 **人と人が「みどり」で**
“つながる”

一人ひとりの豊かな都市生活（住む、働く、訪れる）の実現に向け、みどりを“育む・活かす”取組をきっかけに、人々が集い交流し、みどりを中心としたコミュニティ醸成につなげていく

個別取組

みどりの持続的な
保全と機能向上

多様なみどりの創出

柔軟なみどりの活用

エリアやみどりの特性を
踏まえたマネジメント

みどりを介した人と人との
つながりの醸成

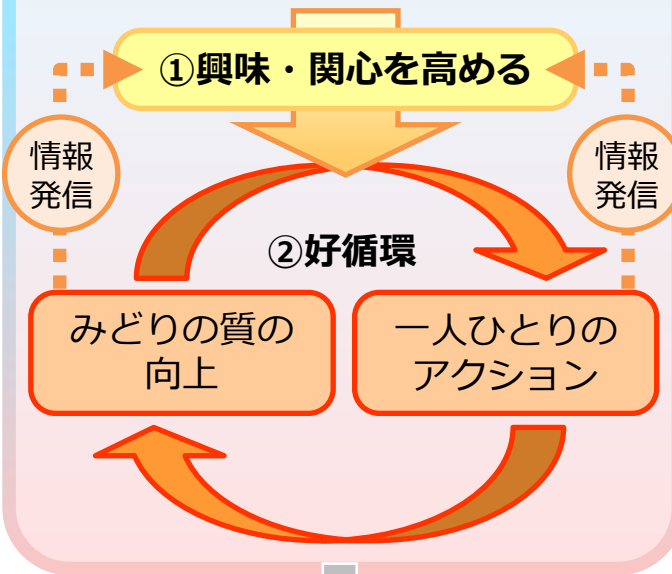
それぞれの個別取組を
一体的に推進

みどりに関する
情報・価値の共有と発信

リーディングプロジェクト

■ 次期計画期間（10年間）
のみどりのまちづくりを
先導するプロジェクト

■ みどりへの興味・関心を
高める取組と、みどりの
満足度向上に向けた好循環
を生み出す取組をそれぞれ
4事業（計8事業）設定



基本理念や基本方針の実現を進めることができるか…

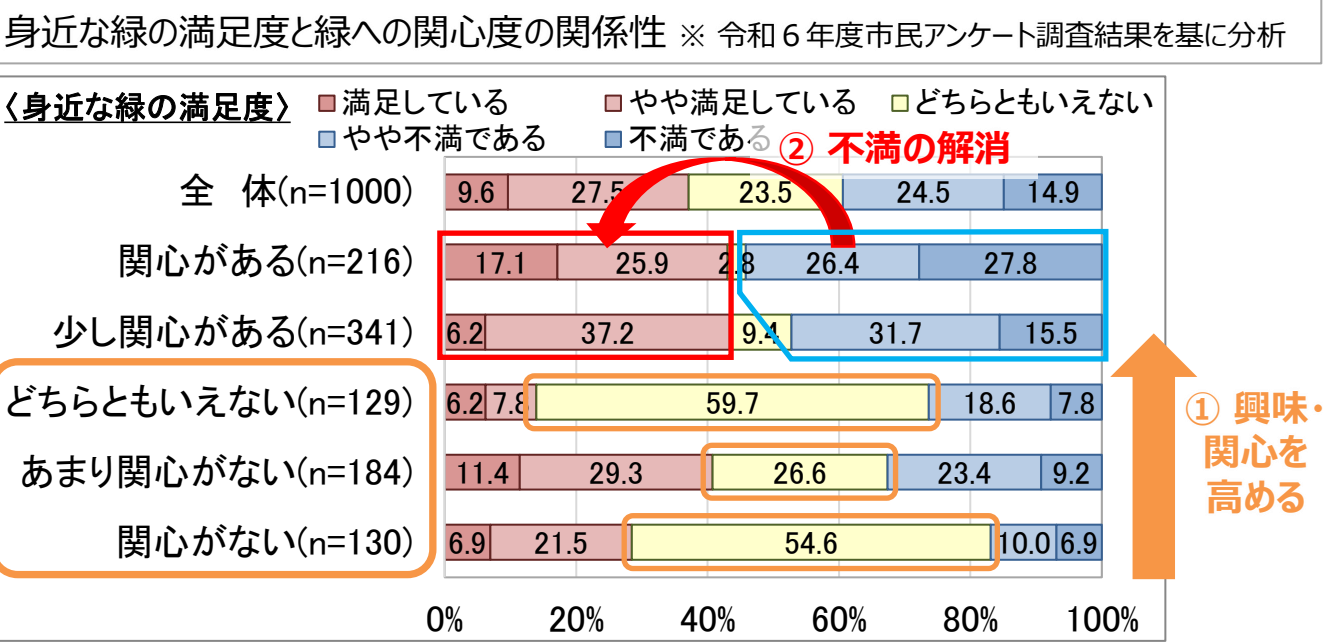
指標

指標の達成（基本理念・基本方針の実現）につなげる

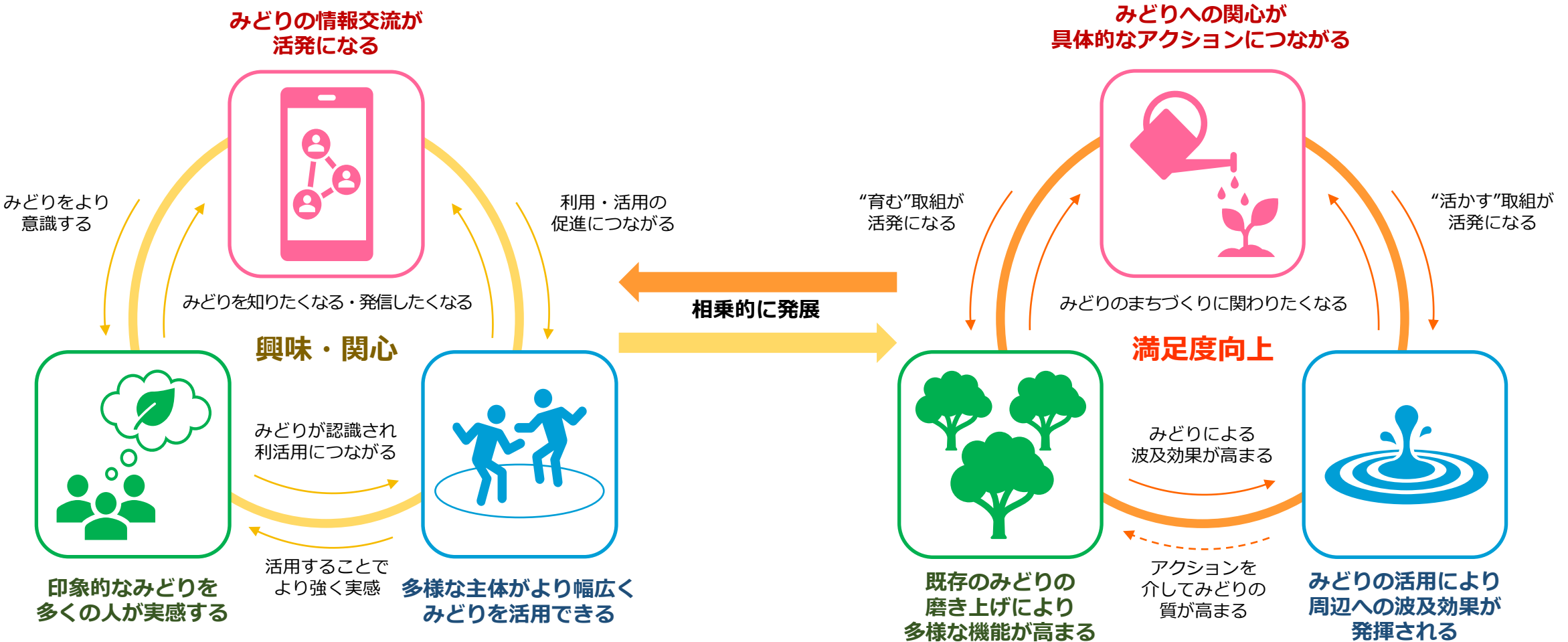
リーディングプロジェクト（LP）

1 LP設定の考え方

- ✓ 現行の基本計画期間では、「身近な緑の満足度」が低下傾向にあり、基本理念に掲げる「誰もが住みたい・働きたい・訪れたい」と思う『みどりの都市』を実現する上での大きな課題となっている
- ✓ 令和6年度に実施した市民アンケートについて分析した結果、日常生活の中でのみどりとの関わり方が、満足度に影響している可能性が明らかとなった
- ✓ このことから、今後は次の取組が求められると考えられる
 - ① みどりと関わる機会を創出し、興味・関心を高める
 - ② 既存のみどりの質の向上により、不満を解消する



「みどりへの興味・関心を高めるプロジェクト」と「みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト」を設定



2 LPの内容

【基本方針①】
“育む”

① みどりへの興味・関心を高めるプロジェクト

①－A

多くの人に認識される
街路樹・公園樹の景観・
快適性向上

多くの人が訪れる公園や道路などにおいて、
美しい樹形と豊かな緑陰を形成し、景観向
上や空間としての快適性向上を図る



豊かな緑陰形成の
イメージ

①－B

開発に合わせた民有地
緑化の推進

民間開発に合わせて多様なみどりを取り
入れる取組を拡大・展開させ、質の高い
印象的なみどりの創出・育成を図る



民有地緑化の事例
（新ダイビル「堂島の杜」）

出典：社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）HP

①－C

多様な主体によるみどり
空間の幅広い活用

多様な主体による幅広い活用の取組を、
より多くのみどり空間で根付かせること
で、みどりに対する興味や愛着を高める



公園活用のイメージ
（パークファン）

①－D

多様なツールを活用した
みどりの情報共有・発信

ポータルサイトやSNSなど、多様な
ツールを活用した情報の共有・発信に
より、みどりを知る・触れる機会を創出



みどりのポータルサイト
（みどりの都市・大阪ONLINE）

【基本方針②】
“活かす”

② みどりの満足度向上に向けた好循環を生み出すプロジェクト

②－A

市内全域における
街路樹・公園樹の
計画的な保全育成

市内全域の街路樹・公園樹を対象に、植
栽環境に応じた、計画的な維持管理を行
い、健全な樹木の保全育成を推進



計画的な維持管理の
イメージ

②－B

利用者の意見を反映した
公園の魅力向上

利用者の意見を反映させた公園施設の導
入や、機能分担の視点を踏まえた調査
検討・試行により、公園利用を促進する



魅力ある公園施設のイメージ
（複合遊具）

②－C

地域・エリアのステーク
ホルダーによるみどり
空間の活用・運営

地域・エリアのステークホルダーが公園
などを活用・運営することで、地域の
課題解決やエリアの価値向上につなげる



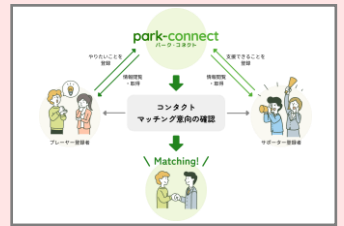
地域主体のイベント事例
（草津川跡地公園）

出典：草津川跡地公園HP

②－D

みどりのまちづくりに
参画・支援する取組の
展開

様々な活動を支援できる仕組みを構築し、
多様な主体による参画・支援の輪を拡大
させていく



公園活用プレイヤーと
サポーターのマッチング
（パーク・コネクト）

【基本方針③】
“つながる”

【参考】街路樹・公園樹の管理にかかる取組の詳細は、別途策定する「**街路樹・公園樹マネジメント戦略**」に記載予定

■ **街路樹・公園樹マネジメント戦略**とは…街路樹・公園樹の**総合的・計画的な管理を推進**するための**具体的な戦略**を定めたもの

《本戦略に記載する具体的な内容》

① 樹形及び管理水準の設定

② 樹木の計画的な更新及び配置の適正化

③ PDCAによる持続的な維持管理（樹木管理DX）

④ 多様な主体との連携と情報発信（樹木管理DX）